まき
発行所
西蒲原郡
巻町公民館
発行責任者
福口弘雄
印刷所　北斗印刷株式会社

巻町スポーツの日

各地区で開催される スポーツの行事

趣旨
新潟県及び県教育委員会において、国体史上まれにみる大成功を収めた新潟国体を永久に記念するため、県民スポーツの日を設定して、スポーツ行事を行うことになったが、国体のホッケー会場として、総力をあげて協力した当巻町も、国体の開催された六月の上旬の一日を〝町民スポーツ行事〟として実施し、町民の体位と、体力の向上をはかり、スポーツの振興によって、町民の生活を明朗にしようとするものである。

期日
六月六日（日）（順延）

主催
巻町、巻町教育委員会

実施方法
1 巻町全地域を一会場で実施することは、いろいろ困難が予想され、大勢の参加も望めないので、中学校区毎、または小学校区毎に実施する。
2 会場毎の行事内容は、その地域の小中学校、ＰＴＡ、分館、青年団、婦人会等の代表者会議で決めてもらう。
3 会場毎に実施する行事はそれぞれの地域の任意の形をとるが国体ホッケー会場を記念して、小中学校生徒代表によるホッケーリレーはとり入れる。
4 ホッケーリレー
○小学一年生より六年生まで、男女各六人による赤白二チームの対抗リレーとして一人約五〇米とする。
○中学生は一年より三年まで男女各三人赤白二チームとする。
（一般チームも若の例による。
5 この競技の外、小中学校内容の外、婦人会の民謡おどり、ブラスバンド、鼓笛隊、地域の青年、成人の参加を出来るだけ求めて行う。
6 詳細打合せは近く主催者に於て各学校の担任の先生方の会合で決める。
以上のような内容で、現在町や教育委員会で検討して居ります。
田植えも終った、六月上旬の一日を是非町民大勢のご参加で楽しく、有意義な一日を過したいと思います。

春の全国交通安全運動巻管内の結果
違反八十余件と子供の無事故
学校の交通安全指導がみのる

五月十一日から二十日まで、全国一斉に、交通安全運動が展開されたが、巻警察署でも、役場や、各機関安全協会等の協力を得て、この運動の普及と、安全確保に努力してきた。
その結果は、やはり悪質違反が、アトをたたない。
この期間の特長をひろってみて、今後の交通のいましめとしたい。
一、酔払い運転が多い。
事故七件の内訳をみると
死者　一　負傷　五
物損　一
二、スピード違反、無免許運転が多い。
この運動期間中は、気のゆるみ等からくる事故違反等は案外少なく、この種の悪質違反が、八十余件に及んだ。
三、子供の事故なし
小中学校で、交通安全指導の成果だと思うが、子供の事故はなかった。
四、老人の交通事故
多くはないが、老人クラブ等で、もっと自覚を促してほしい。

青少年のグループ活動
困難ななかにも こんなに活発にやれる

どこの部落も、どの地域も青少年の転出や、出稼ぎで青年団の活動や青年学級の不振が叫ばれています。
今まで通りのものを、今までの形でやろうとしたらやはり長続きもなく、かけ声だけで終りがちです。
社会は変ってきています。青少年の生活の立場も変っています。
また求めるものも変っています。
如何でしょう、思いきって青年集団の形を変えるなり内容を新しいものにしてみませんか。
漆山の東端れの東町に、青少年のグループ〝あゆみ〟が誕生しました。
中卒生も、高校卒生も、高校在学生も入っているのです。
会則も、会員の規略の外時代の進展に遅れないような広い視野に立つ青少年であるよう、うたっています。
役員もリーダーと実行委員と、相談役だけです。
映画会も、これは部落全員で見て貰うと思うものは勿論一般映写会として公開しています。
七月のキャンプの事前講習を神社の境内で、公休日を利用してやると張り切っていますが、集りは楽しさが一パイです。（リーダー小林一男君）
漆山の青年学級二十数人ですが、学級リーダーの灰野君を中心に週一回（水曜夜八時）必ず集るのです。一年間の努力がペン習字の上でも珠算の上でもそして、今まで不参加だった。女子青年の参加の点からみても、実績をあげています。終って十分か二十分の座談会も楽しい一つです。女子は田辺ユキ子さんがよくまとめていよいよ生花もはじめました。
最近生れたのに、馬場の青年学級があります。学級長は渋谷太麗雄君ですが、うす暗い、お世辞にも立派とはいえない公会堂の二階で蜜柑箱を足にした机で、学習に励み、新しいプランを話しあう青年達の姿に活気があふれています。
この三カ所のグループ、学級をみて感じたことは、この三カ所とも、農村としての悩みや青年の置れている立場は同じです。
条件は悪い、個々の生活は異る。
けれども、友を求めて、新しいもの、楽しいもの、役立つものへの意欲が集るキッカケを作り出したのです、やがて他グループとの交歓会ももつようになるでしょう。そして今やっていることからまた飛躍して更に新しいプランが生れてくるでしょう。

◇　◇

漁村の長老
五箇浜　酒井与三右エ門（76才）

五箇峠を越えると新緑にもえる山峡のむこうに、日本海の濃い青海原が目にしみるほどあざやかにひろがっている。
酒井さんのお宅は五箇浜部落のほぼ中ほどにあって、石段を登っていくと入口に覆の巨樹がそびえひっそりとしたただずまいを見せている。中庭の池に緋鯉と金魚が泳ぎ、赤いボタンの花が影を映している。今は老夫婦だけの生活とのことである。
〈人に知られた豊間浜大敷大漁師〉
故郷の小規模漁業にみきりをつけ、当時の五箇銀行の蔵官を受け、福島、茨城の太平洋沿岸に漁場をもとめて進出し成功者となった人も知る阿部彦治郎翁（五箇浜出身、昭和十七年没）等に加わって村を出たのが大正十一年であった。以来二十余年間、太平洋戦争がたけなわとなった昭和十八年に村に帰えるまで豊間浜、平潟などの漁場の経営者として活躍した。酒井さんは今、その生残りの唯一の人となった。
戦後民選初代村長となり巻町合併まで八年間をつとめて、その後幾多の要職につい、自ら政治にはむかなかったと述懐しておられるが、五箇峠の改修工事、海岸の護岸工事、副業の奨励等、漁村の諸事業につくした功績は大きい。
今も二そうのテント船とマル木舟をつかって定置網による漁かくの共同経営をつづけ、人手不足から五十年輩の乗組員九名と共にささやかな生業にいそしんでいる。
（豊間大敷大漁師　阿部彦治郎作）

巻町の年輪 ⑦

「巻町の年輪」について
この町に生れ、育ち、この道一すじに生き、それぞれ地域の発展につくして、今はひそかに余生をおくっている古老の方々。私たちは、そのことを忘れて郷土の今日を語ることはできない。
「巻町の年輪」は、こうした考えに立って連載してゆく町の古老訪問記である。（石）

私の机の上に一鉢のパンジーがある。パンジーは、これまで三色すみれとよばれてきた。すみれは大工が使う墨つぼ、墨入れに、花の形が似ているからこうよんだのであろうが、パンジーはどこの冒険か忘れたが、多分思案するとか、思案顔という意味があったようにおぼえている。なるほど、この花を眺めていると、顔を重くたれて、何か考えごとをしているように見える。風に吹かれて、花をゆすると思案顔が、にこにこ顔に変ったようで愛嬌がある。
同じ一つの花をみても、一方はすみいれ、一方は思案顔と見る。物の見方、考え方というものは、その人の立場や、歴史的因縁によって実にさまざまである。
自分は昭和五年の春まで五カ年間菅の巻中に学んだのであるが、三十年ぶりでこの町につとめることとなった。当時の巻町、淋しい田舎町としかみなかった。それがいまでは、人情ゆたかな文学どおりの田園都市に思われてならない。これは私の年のせいだけだろうか。（藤井）

"町政を聞く会から"

二月と三月にそれぞれの分館において、土田助役、高橋企画課長、野沢経済課長、を囲んで町政を聞く会を開催したが、そのしめくくりとして四月二十四日夜公民館に於て町長を囲む会を開催した。

（以下要旨）

巻町の予算は、おもに一般会計、国民健康保険会計、水道会計、病院会計の四つから出来ている。

四十年度の一般会計は約三億二千万円である。

才入は税金として三分の一、平衡交付金として三分の一、その他が三分の一に大別できる。

このうち平衡交付金というのは国で計算した一定の収入の無い場合に交付される金で有がたい金だが。金持ちの町でないということになる。

才出は職員の給料等に三分の一、役場、学校等管理運営に要する経費に三分の一、各種事業費に三分の一とこれまた大別出来る。

今年の重点は道路で巻中前、篠山、安尻の舗装を考えている。

新潟、弥彦線の改良工事も実施して行くが県道であるから県の施策と相まって実施する。

又新しい路線として巻中脇を通る二級国道、角田埼灯台から浦浜、間瀬を経て寺泊に至る線、角田山から弥彦山、国上に至るスカイラインが考えられている。

こんご町として、これらの路線の活用を考え対処して行きたい。

火の用心

もったいない千五百万円

千五百万円といえば、本町通りの道巾なら五センチ厚で千メートル舗装出来る金額である。

今年は正月五日の越前浜のボヤから始まり三日後の八日にガス管の破損から巻で一戸全焼し約二百万円の被害を出した。

つづいて二十六日には煙突の過熱から巻で五軒の類焼があり約五百万円の被害があった。

以後二月十二日に東町、三月五日に角田浜、三月十六日に巻で百万円から五百万円の被害でこの間にまた六件に亘るボヤが出ている。わずか三ケ月余りで、千五百万円の被害が出である。

今直ぐ家庭内の機具を点検して下さい。

五月に入ってからヒンソンと山火事が出てこれまた相当の被害が出ている。

なれない人は山で火をたかないこと、捨てたマッチたばこも今一度確かめて下さい。

（消防の電話は三〇九）

（消防）

役場だより

"用地課新設"

町の発展に伴い、益々おややけの用地関係の仕事が増えてきました。

この仕事を円滑にすすめて行くために役場の中に「用地課」が五月七日に新設されました。（　）内は前任

課長（水道課長）　樋浦土木雄
用地係（土木係）　相模　正寿
用地係（管財係）　斉藤　寅次
用地係（都市計画係）　安尻　辰夫

水道課長の後任は河村建設課長業務となりました。

雑布の寄贈

先に巻の「仲よしクラブ」より鏡の寄贈をうけた本館に先月末に「稲島老人クラブ」より心のこもった雑布十数枚の寄贈があり、館では思いがけぬ贈り物に感謝している。

なおこれは数年前から老ク年中行事の一つとして稲島分校へ寄贈をつづけているもの。

尾瀬ハイカー募集

次の要領で群馬県尾瀬沼ハイキングを行います。多数の参加を望んでいる。

日程
六月十一日　午後七時巻駅発
六月十二日　原の小屋一泊
六月十三日　帰町

申込みは六月五日までに巻町ハイキングクラブ事務局（電一七七）へ御連絡下さい。六月七日に打合せ会を開きます。

あなたの体力と運動能力を診断してみましょう

どんな環境にある人でも健康であり、すぐれた体力をもつことが大切である。

スポーツテストは人々が自分の体力やスポーツ活動の基本となる運動能力の現状を確かめ、その結果に基づいて、不足している能力を高めるよう努力するとともに、各種のスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛練して、その健全な発達を図り、健康に自信をもって生活できるようにするために行なうものです。町では次のようにを実施いたしますので多数の参加をお待ちしております。

一、とき
六月六日午前九時より

二、ところ
巻高等学校

三、種目
◇体力診断テスト
①反復横とび
②垂直とび
③背筋力
④握力
⑤伏臥上体そらし
⑥立位体前屈
⑦踏台昇降
◇運動能力テスト
①五十米
②走り幅とび
③ハンドボール投げ
④懸垂腕屈伸
⑤選択種目（持久走外）

四、申込み
当日も受付いたしますが六月五日正午まで公民館へ

五、その他
総合得点により級別判定がなされ希望者には、バッチが交付されます。その細部は当日会場にて説明いたします。

注、このテストは昔の体力検定に以たものであります。

明るく正しい

選挙の推進集会

五月二十八日巻町で開く

参議院議員選挙が目前に迫っています。今年は、国民参政七十五周年、普選四十周年、婦人参政二十周年の記念すべき年なのです。

この選挙は、何としても"明るく正しい選挙"にしたいと県の選挙管理委員会巻町の選挙管理委員会、役場、教育委員会等が主催して、次の催をもつことになりました。

町民の皆さんから多勢の参加を望んで居ります。

記

日時・五月二十八日一時半
所・公民館ホール
内容・
討論会
"選挙はこんなふうでほしい"
婦人会代表
商店主
青年代表
議員
報道機関の立場
公務員
映画
"私達が選ぶ"
お話
新大助教授　渋谷武氏

"税を完納下さい"

——昨年度分は今月中に——

昨年の町税の滞納をなくすために五月二十日から一週間、職員が滞納家庭を訪問します。

これは今月末に迎える年度〆切に備えるためです。

留守になる家庭は、留守でも納税に差支えのないように手配下さい。

今回は町では強力におしすすめます。ご協力を願います。

（税）

登山者やわらびとりににぎあう角田山

山火事を出さぬよう

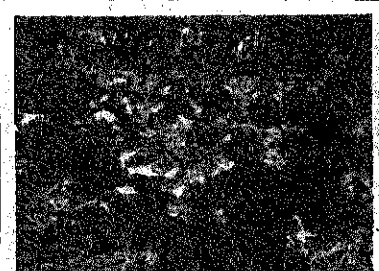
水芭蕉の開花期からひきつづき、角田山や山麓を訪れる人がたえない。

五月の晴天の日曜など角田山頂で、中食をとる人だけで四百人を超えるというしかも山麓一帯は、おくれた、わらびの出盛りとあって家族づれが多い。つつじの花咲く山に、青葉照りはえる山路に、子供たちも元気にはしゃいでいる。

新潟のユースホステルの若い男女、鳥屋野中学や坂井輪中学の生徒さんも、それぞれ三百人を超える大部隊で登山していった。

ただ五月の晴天つづきでうっかり捨てた、たばこの吸がらや、たき火の不仕末で何回も山火事が起きている。

最近落葉や枯れ枝がそのままになっているので、山に登られる方や、わらびとりの農さんは、地元の部落や町の消防署ではくれぐれも火には気をつけてほしいと強く望んでいる。



巻地区婦人会のうごき

巻地区婦人会（会長藤田ツヱ）では社会の変ぼうと個人の生活の変化に即応して、気軽るに集れるもの帰宅により入れるいくつかのコース。

そんな目標で四月から事業をすすめてきていますが、六月に予定されていることがらや、今つづけている集会を、おしらせいたします。

○婦人会映画の夕
六月四日夜七時半
会場公民館
失婦といりもの　三巻
北海道の自然　カラー　三巻

○生花講座
六月七日、六月二十一日
講師　石川静江先生
申込先　九区　寛島キミさん

○手芸教室
会場　六区　長沼ハルさん宅
五区　ジュリアン

○書道教室
毎月第二、第四金曜日
会場　公民館
講師　木下史愉先生
申込先　各班長さん

○その他
近く「民謡おどりの講習」を始めます。
また六月末に新大谷村教授より「いつまでも老えず長生きするための栄養学」についての講演会を開く予定。

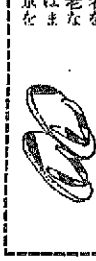
おらが老人クラブ

若い者に負けておれない、と

角田浜老人会

越後毒消し発祥の地として、ひと頃は「祝祭日には国旗を掲げよう」と懐古の情もつつましい会でもある。

然しながら、現実の風は中堅層出稼の留守宅をまもる「長生クラブ」の会員個々にも厳しく吹きつけていることがうかがえる。

会員の大半は、農作業に又、若い者に負けておれないと、行商に出ている老婆も十名程いるという。富大丁の統領として近郊に名を知られている乙山朝吉老など、まだまだ若い者にはまかせられない、と、東京を往復して其の腕と統率力を発揮している。

会長の斎藤庭三郎さんは昭和三十年の町村合併まで角田村の村会議員、収入役等を歴任され、合併後も区長をつとめるなど人望あつい老人で白いアゴ髭をなでながら「角田の長生きクラブは、会合を開いても、忙しいので、会員の集りが悪いの。会合のときは全員が集まって、昔話りや、変りゆく角田浜のことなどを話し合い、楽しく、みんなが長生きしたいものだ」と話していた。